

令和6年2月2日

適応外・禁忌医薬品等評価委員会で承認された治療法

当院の適応外・禁忌医薬品等評価委員会にて、下記の治療法が承認されました。対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、病院ホームページにて情報を公開することにより投薬を実施しております。なお、本件について同意できない場合、診療において不利益を被ることはありません。この内容に関して拒否される場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

記

実施内容	非ケトーシス型高グリシン血症に対する安息香酸ナトリウムの使用、メジコンの大量投与
実施責任者	愛知県医療療育総合センター中央病院 病院長 新美 教弘
対象者	非ケトーシス型高グリシン血症の患者
承認日	2024.2.1
対象期間	承認後から永続的に使用
概要	【目的・意義】 非ケトン性高グリシン血症（グリシン脳症）は、グリシン開裂酵素系の遺伝的欠損により、体内のグリシン濃度が異常に高くなる疾患です。過剰なグリシンが組織や臓器、特に脳に蓄積し、重篤な神経学的問題を引き起こします。 有効な治療法は未だ確立していないものの、日本先天代謝異常学会で紹介されているガイドラインでは、安息香酸ナトリウム、NMDA型グルタミン酸受容体アンタゴニスト（メジコン、ケタラール）、抗けいれん薬、などの薬物療法が紹介されています。このうち、安息香酸ナトリウムは医薬品製剤原料（保存剤）として広く製剤に使用されているものですが、治療のために処方される薬剤ではなく、また、メジコン（一般名：デキストロメトルファン）は成人に対する鎮咳薬として広く使用されている薬剤ですが、本疾患には通常の10倍以上の処方量が推奨されています。しかし本疾患には他に治療薬がないため、当院ではこのガイドラインに沿って治療を実施いたします。
お問い合わせ先	愛知県医療療育総合センター中央病院 企画事業課 代表 0568-88-0811(内線 5231)